

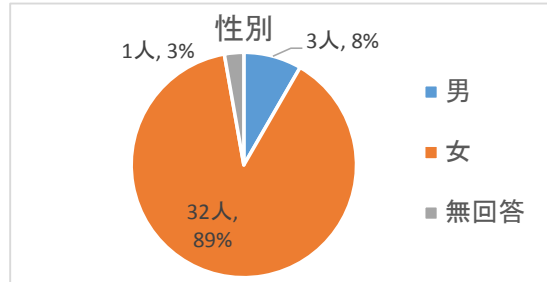
資料2 別紙

令和3年度慢性腎臓病住民講演会 アンケート集計結果

\*回答率 45.6% (受講者79名中、36名回答)

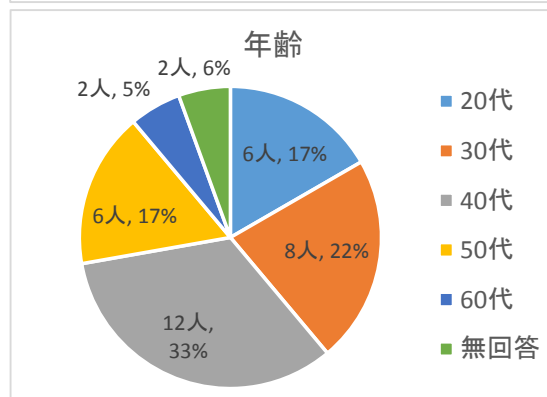
1 性別

男	3
女	32
無回答	1



2 年齢

20代	6
30代	8
40代	12
50代	6
60代	2
無回答	2



3 お住まいの市町村

空知	1	宗谷	0
石狩	7	オホーツク	3
後志	2	十勝	1
胆振	1	釧路	2
日高	4	根室	1
渡島	1	札幌市	7
檜山	0	旭川市	1
上川	2	函館市	1
留萌	1	無回答	1

4 講演会に参加した理由

糖尿病・慢性腎臓病について詳しく知りたかった	26
自分や家族が糖尿病・慢性腎臓病の患者であり、知識を得たかった	1
Web配信で参加しやすかった	7
その他	2

\*その他の理由

- ・住民向けの腎臓病や糖尿病の保健指導に生かしたいと考えたため
- ・地域住民へ疾病のことを説明する際の参考としたかったため

5 どこで講演会を知ったか

チラシ・ポスター	14
インターネット	3
新聞	1
市町村(保健師や栄養士等)からの紹介	8
家族や友人からの紹介	2
その他	8

\*その他は、職場の回覧、協会けんぽ、健康保険組合等

6 講演の満足度

たいへん満足	13
やや満足	12
満足	10
やや不満	0
不満	0

## 7 糖尿病と慢性腎臓病の関係がわかったか

とても理解できた	18
やや理解できた	6
理解できた	11
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

## 8 生活習慣を見直したいと思ったか

思う	30
思わない	0
わからない	4

## 9 どのような生活習慣を見直したいと思ったか

減塩	16
運動	6
健診受診	2
その他	2

## 10 感想・意見

・非常にわかりやすい講演でした。
・とても分かりやすい内容でした。
・受診を渋る、病院に行かない人への対応
・体の仕組みから学ぶことは大切だと思った。食事についてももっと詳しく知りたいと思った。
・大変わかりやすかったです。
・特定保健指導に携わっている保健師です。対象者の方へのわかりやすい説明の仕方として、大変参考になりました。
・とても解りやすくお話ししていただきよかったです。
・町の保健師で参加しました。糖尿病の疫学データや具体的な症状について知ることができ、とても勉強になりました。住民支援に反映させていきたいと思います。
・わかりやすく説明してくださり、理解を深められた。健診機関によって空腹時血糖やHbA1cなど基準値に幅がある。予防のためにはHbA1cであれば5.2未満が目標であることを知り、あらためて自分の健診結果を見直して見ようと思いました。
・CKDの患者さんが8人に1人と多い(と感じます)のに対し、腎臓内科の先生が非常に少ない現状で、地域による差も大きいと感じます。蛋白尿が出ていても「年だから仕方がない」「死ぬことはない」などの理由で検査をしてもらえない人もいます。泌尿器科への紹介してもらえない場合もあり、かかりつけの先生に言われるとどうしても検査をしてほしいといいにくく、西尾先生のおっしゃる通りのことが起こっています。かかりつけ医レベルでの啓蒙？が必要と思いますし、患者自身の「自分の体を守る、知る」気持ちを先生に伝えて良いという啓蒙も必要だと感じました。ありがとうございました。
・専門医からのお話、具体的で解りやすいと思いました。
・管理栄養士として働いているのですが、健診結果説明会等で血液検査の基準値と検査結果を比較するときに0.1%しか変わらない、10mg/dlしか変わらないと言われたときにその変化が体にとっては大きな変化であることをどう説明すべきか悩んでいたため、今回の講演会での説明がとても参考になりました。普段の業務に取り入れていきたいです。 また、病院の取組や専門医の数など新たな学びや、参加者の質問からどんなことに興味があり、どんな知識があるのかを少しではありますが知れてよかったです。 今回の講演会でも喫煙は大きなリスクになることをお話されていましたが、喫煙に焦点を当てた講話がありましたら是非拝聴したいです。